

2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年1月12日

上場会社名 and factory株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7035 URL <https://andfactory.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 倫治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 蓮見 朋樹 (TEL) 03-6712-7646
 四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第1四半期の業績 (2023年9月1日~2023年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	896	26.4	△195	—	△207	—	△66	—
2023年8月期第1四半期	709	6.3	25	1.0	15	—	14	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	△5.95	—
2023年8月期第1四半期	1.42	1.42

(注) 2023年8月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第1四半期	4,928	1,053	21.4
2023年8月期	5,275	1,120	21.2

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 1,053百万円 2023年8月期 1,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の業績予想 (2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	67.8	△338	—	△364	—	0	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年8月期1Q	11,261,970株	2023年8月期	11,261,970株
2024年8月期1Q	257株	2023年8月期	257株
2024年8月期1Q	11,261,713株	2023年8月期1Q	10,178,289株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 4 ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社の主要な事業領域である電子書籍市場については、2021年度の市場規模は5,510億円であり、そのうちコミックが占める割合は84.6%、2022年度の市場規模は6,026億円と前年度から9.4%増加し、そのうちコミックが占める割合も86.3%の5,199億円と増加していることから、近年コミック市場の規模は拡大傾向にあるといえます。また、2027年度には電子書籍市場は2022年度の約1.3倍の8,066億円に拡大すると予想されていることから、当社としては今後も市場拡大のトレンドは継続していくと見込んでおります。(インプレス総合研究所の「電子書籍ビジネス調査報告書2023」より)

このような環境の中、当社は、「日常に&を届ける」をミッションとして掲げ、中核事業となるAPP事業において、主に大手出版社と共同開発したスマートフォン向けのマンガアプリの収益拡大に注力してまいりました。

当第1四半期累計期間においては、APP事業の主力事業であるマンガ事業では、課金率の高いアプリが好調に推移したことや人気作品の牽引によって課金売上が増加いたしました。エンタメ事業では古い事業が好調に推移し、APP事業全体で売上高及び営業利益ともに前年同期を上回って着地いたしました。

RET事業においては、入国規制の緩和により外国籍の宿泊者数が増加傾向にあることで「&ND HOSTEL」の稼働率は徐々に回復傾向にあり、平均単価はコロナ禍以前の水準にまで回復しております。2023年9月より自社運営店舗であり長らく休業していた「&ND HOSTEL SHINSAIBASHI EAST」の営業を再開したことにより、宿泊売上が増加し売上高は前年同期を上回って着地いたしました。一方、「&ND HOSTEL」の開発用に購入し保有していた物件について販売活動を行っており、一部物件の売却が確定したことによる販売用不動産の評価損を当第1四半期累計期間に計上したため、営業利益は前年同期を大きく下回って着地いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は896,446千円(前年同期比26.4%増)、営業損失195,959千円(前年同期は営業利益25,284千円)、経常損失207,004千円(前年同期は経常利益15,169千円)、四半期純損失66,959千円(前年同期は四半期純利益14,453千円)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① APP事業

当第1四半期累計期間において、出版社や株式会社アムタスと協業で運営している7つのマンガアプリについて、効率的な広告宣伝費の投下やキャンペーンを積極的に実施したことが奏功し、新規ユーザーの獲得が順調に推移しました。さらに、既存ユーザーの継続を促す施策等を実施したことでユーザーが定着し、MAU(注1)は高水準を維持しております。

広告ARPU(注2)は下降傾向にあり広告収益は全体的に減少いたしました。人気コンテンツの掲載や課金率の高い作品の牽引によって課金売上は増加いたしました。

更に、既存マンガアプリの追加機能開発やシステム開発受託に係る開発収入等を受領したことも売上高を押し上げました。

この結果、当第1四半期累計期間におけるAPP事業の売上高は858,306千円(前年同期比24.7%増)、セグメント利益は200,812千円(前年同期比55.8%増)となりました。

(注) 1. Monthly Active Userの略称であり、1ヶ月に一度でもアプリを利用したユーザーの数を指します。

2. Average Revenue Per Userの略称であり、ユーザー一人当たりの収益単価であります。

当社のAPP事業において運営するスマートフォンアプリのうち、「マンガアプリ」の四半期毎の平均MAU数の推移は下表のとおりであります。

(単位：万人)

年月	平均MAU数	年月	平均MAU数
2017年5月末	31	2020年11月末	1,026
2017年8月末	65	2021年2月末	1,054
2017年11月末	108	2021年5月末	1,056
2018年2月末	150	2021年8月末	1,101

2018年5月末	204	2021年11月末	1,046
2018年8月末	238	2022年2月末	1,044
2018年11月末	279	2022年5月末	1,121
2019年2月末	362	2022年8月末	1,152
2019年5月末	430	2022年11月末	1,129
2019年8月末	532	2023年2月末	1,105
2019年11月末	641	2023年5月末	1,140
2020年2月末	720	2023年8月末	1,161
2020年5月末	906	2023年11月末	1,126
2020年8月末	994		

(注) 上記の平均MAU数は、各四半期における平均値を記載しております。

② RET事業

当第1四半期累計期間において、当社が運営する宿泊施設である「&AND HOSTEL」では、入国規制緩和の影響もあり、外国籍の宿泊者からの予約が増加し各店舗で稼働率及び平均単価が回復基調となりました。2021年10月より休業していた「&AND HOSTEL SHINSAIBASHI EAST」について、2023年9月から営業を再開しており、好調に稼働しております。これにより宿泊売上が増加したことで、RET事業全体の売上高は前年同期を上回って着地いたしました。また、一部店舗における契約見直しを実施した結果、当社が収受する売上高及び負担費用が圧縮されました。

一方、&AND HOSTELの開発用に購入し保有していた物件に関して、一部物件の売却が確定したことによる販売用不動産の評価損を当第1四半期累計期間に計上したため、営業利益は前年同期を大きく下回って着地いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間におけるRET事業の売上高は38,139千円（前年同期比84.9%増）、セグメント損失は317,934千円（前年同期はセグメント損失12,024千円）となりました。

③ その他事業

他のセグメントに属さない新規エンターテインメント領域の企画検討等を実施しております。

当第1四半期累計期間におけるその他事業の売上高は0千円（前年同期比－%）、セグメント損失は912千円（前年同期はセグメント利益670千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は4,928,229千円となり、前事業年度末に比べ347,143千円減少いたしました。これは主に保有目的の変更により、販売用不動産1,092,857千円を建物に757,914千円、構築物に1,196千円、土地に424,058千円、減価償却累計額に90,311千円振替えたこと、売上原価に販売用不動産の評価損を310,726千円計上したことにより販売用不動産が1,403,584千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は3,874,523千円となり、前事業年度末に比べ280,183千円減少いたしました。これは主に、その他流動負債が41,873千円増加した一方で、未払金が63,380千円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）が219,284千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は1,053,705千円となり、前事業年度末に比べ66,959千円減少いたしました。これは四半期純損失の計上により利益剰余金が66,959千円減少したことによるものであります。

なお、自己資本比率は21.4%（前事業年度末は21.2%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2023年12月14日に公表した通期業績予想から変更はありません。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	925,363	944,032
売掛金	547,279	568,183
仕掛品	49,720	45,272
販売用不動産	3,109,620	1,706,036
立替金	230,609	167,131
未収還付法人税等	-	4,617
その他	132,980	118,099
貸倒引当金	△17,627	△12,969
流動資産合計	4,977,946	3,540,403
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,640	769,554
構築物	-	1,196
工具、器具及び備品	69,124	71,554
土地	-	424,058
減価償却累計額	△54,457	△156,420
有形固定資産合計	26,307	1,109,943
無形固定資産		
ソフトウェア	38,022	32,260
ソフトウェア仮勘定	18,873	38,767
無形固定資産合計	56,896	71,027
投資その他の資産		
投資有価証券	165,607	162,201
繰延税金資産	2,536	-
敷金及び保証金	42,648	42,278
その他	3,429	2,375
投資その他の資産合計	214,222	206,855
固定資産合計	297,426	1,387,826
資産合計	5,275,373	4,928,229

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	120,035	140,088
短期借入金	205,000	190,000
1年内返済予定の長期借入金	677,136	1,851,150
未払金	580,747	517,366
未払法人税等	11,933	-
賞与引当金	21,144	-
役員賞与引当金	7,770	-
株主優待引当金	6,983	4,481
その他	95,798	137,672
流動負債合計	1,726,547	2,840,758
固定負債		
長期借入金	2,425,070	1,031,772
長期預り保証金	100	-
その他	2,989	1,993
固定負債合計	2,428,159	1,033,765
負債合計	4,154,707	3,874,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,818	801,818
資本剰余金	800,460	800,460
利益剰余金	△481,040	△548,000
自己株式	△572	△572
株主資本合計	1,120,665	1,053,705
純資産合計	1,120,665	1,053,705
負債純資産合計	5,275,373	4,928,229

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2022年9月1日 至2022年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自2023年9月1日 至2023年11月30日)
売上高	709,102	896,446
売上原価	294,921	705,727
売上総利益	414,181	190,719
販売費及び一般管理費	388,896	386,678
営業利益又は営業損失(△)	25,284	△195,959
営業外収益		
受取利息	0	39
補助金収入	574	2,388
その他	6	144
営業外収益合計	581	2,572
営業外費用		
支払利息	7,850	12,234
株式交付費	2,288	-
その他	557	1,383
営業外費用合計	10,696	13,617
経常利益又は経常損失(△)	15,169	△207,004
特別利益		
固定資産売却益	227	-
投資有価証券売却益	-	143,523
特別利益合計	227	143,523
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	15,396	△63,480
法人税等	943	3,479
四半期純利益又は四半期純損失(△)	14,453	△66,959

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

当社は、2022年11月10日付で、株式会社セプテーニ・ホールディングスから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期累計期間において資本金が249,999千円、資本剰余金が249,999千円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が801,818千円、資本剰余金が800,460千円となっております。

当第1四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

販売用不動産の評価は、個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）によっており、期末時点の販売可能価額から販売経費等の見込額を控除した正味売却価額が簿価を下回る場合には、当該差額を棚卸資産評価損として計上しております。従来、販売可能価額は社外の不動産鑑定士による不動産鑑定評価額によっておりましたが、期末日以降に売買契約を締結した販売用不動産については、契約に基づく販売価額によって正味売却価額を求める方法に変更いたしました。

この見積りの変更により、当会計年度の売上原価が310,726千円増加し、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益がそれぞれ310,726千円減少しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(保有目的の変更)

当第1四半期会計期間において、保有目的の変更により、販売用不動産1,092,857千円を建物に757,914千円、構築物に1,196千円、土地に424,058千円、減価償却累計額に90,311千円振替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	APP事業	RET事業	計		
売上高					
マンガ	554,793	—	554,793	—	554,793
占い	124,788	—	124,788	—	124,788
&AND HOSTEL	—	794	794	—	794
不動産関連	—	300	300	—	300
その他	8,895	405	9,300	—	9,300
顧客との契約から生じる収益	688,477	1,500	689,977	—	689,977
その他の収益	—	19,124	19,124	—	19,124
外部顧客への売上高	688,477	20,624	709,102	—	709,102
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	688,477	20,624	709,102	—	709,102
セグメント利益又は損失(△)	128,850	△12,024	116,825	670	117,496

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に新技術等を用いたエンターテイメント領域に係る事業であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	116,825
「その他」の区分の利益	670
全社費用(注)	△92,211
四半期損益計算書の営業利益	25,284

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	APP事業	RET事業	計		
売上高					
マンガ	671,288	—	671,288	—	671,288
占い	179,142	—	179,142	—	179,142
&AND HOSTEL	—	34,549	34,549	—	34,549
不動産関連	—	2,996	2,996	—	2,996
その他	7,875	—	7,875	—	7,875
顧客との契約から生じる収益	858,306	37,545	895,851	—	895,851
その他の収益	—	594	594	—	594
外部顧客への売上高	858,306	38,139	896,446	—	896,446
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	858,306	38,139	896,446	—	896,446
セグメント利益又は損失(△)	200,812	△317,934	△117,122	△912	△118,034

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に新技術等を用いたエンターテインメント領域に係る事業であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	△117,122
「その他」の区分の損失(△)	△912
全社費用(注)	△77,924
四半期損益計算書の営業損失(△)	△195,959

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(重要な資産の譲渡)

当社は、2023年11月14日及び2023年12月4日開催の取締役会において下記2物件を譲渡する方針を決議し、下記「2. 譲渡資産の内容」物件(1)については2023年11月22日に売買契約の締結が完了し、2023年12月6日に譲渡が完了いたしました。また、物件(2)については2023年12月15日に売買契約の締結が完了し、2024年1月19日に譲渡予定です。

1. 譲渡先の概要等

売却先及び売却価格につきましては、当該物件売買契約における譲渡先との守秘義務により公表を控えさせていただきますが、売却価格は当社の直近事業年度(2023年8月期)の売上高の10%以上に相当する額であります。なお、当社と譲渡先との間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者として特筆すべき事項はありません。

2. 譲渡資産の内容

下記物件(1)～(2)は同一の売却先となります。

物件(1)

所在地	東京都台東区
施設名称	&AND HOSTEL UENO NORTH
種類	土地、建物及び附属設備等
譲渡前の用途	販売用不動産

物件(2)

所在地	東京都台東区
施設名称	&AND HOSTEL UENO IRIYA
種類	土地、建物及び附属設備等
譲渡前の用途	販売用不動産

3. 譲渡の日程

物件(1)

取締役会決議日	2023年11月14日
売買契約締結日	2023年11月22日
引渡日(譲渡日)	2023年12月6日

物件(2)

取締役会決議日	2023年12月4日
売買契約締結日	2023年12月15日
引渡日(譲渡日)	2024年1月19日(予定)

4. 業績に与える影響

(会計上の見積りの変更)に記載のとおり、当第1四半期累計期間において売上原価が310,726千円増加し、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益がそれぞれ310,726千円減少しております。

また、第2四半期累計期間以降においては、当該売却に伴い売上高1,754,771千円、売上原価2,011,762千円、販売費及び一般管理費52,712千円が増加する見込みです。

(借入金の期限前返済)

上記「重要な資産の譲渡」に記載のとおり、物件(1)については2023年12月6日に譲渡が完了したことにより、下記のとおり借入金の期限前返済を行いました。

1. 期限前返済の対象となる借入金の概要

(単位：千円)

借入先	当初借入金額	返済前残高	借入実行日	返済期限	担保
株式会社りそな銀行	600,000	505,502	2020年8月31日	2040年5月31日	不動産

2. 期限前返済の内容

(1) 期限前返済日

株式会社りそな銀行：2023年12月6日

(2) 期限前返済金額

(単位：千円)

借入先	返済前残高	返済金額	返済後残高
株式会社りそな銀行	505,502	505,502	—

3. 期限前返済後の借入金等の状況

(単位：千円)

	本借入金返済前残高	本借入金返済後残高	増減
1年内返済予定の 長期借入金	1,851,150	1,345,648	505,502
長期借入金	1,031,772	1,031,772	—
合計	2,882,922	2,377,420	505,502

(注) 当第1四半期会計期間における借入金残高から、期限前返済を実施した借入金の残高を控除して記載しております。

4. 期限前返済による支払利息の減少見込額

1,634千円